

都城市菖蒲原防犯協会（宮崎県）

宮崎県から参りました都城市菖蒲原防犯協会、女性班アイリスで副部長を務めております王原です。班長を務めております福留です。本日はよろしくお願いたします。



団体の沿革

都城市菖蒲原防犯協会は昭和43年4月に設立し、会員数24名、都城市菖蒲原町に住む公務員、団体職員、主婦、自営業者等で構成された団体です。私たちの住む都城市菖蒲原町は、昭和20年の終戦当時まではのどかな田園地帯でしたが、終戦後引き揚げ者が増えたため、その田園地帯に一般住宅や県営・市営住宅が建ち並ぶようになりました。現在では約800世帯が住んでいる閑静な新興住宅地となり、付近には市営野球場、陸上競技場等が整備され、地域内に消防署も設置されております。また、この地域は昭和32年ごろまで密造酒の製造が盛んに行われ、当局の取り締まりを受けるなど、治安の不安定な地域でしたが、その後の経済成長に伴い、地域住民の生活は安定したものの、住民同士の連帯感は依然として乏しかったため、その影響から少年非行や犯罪が多発するなど、とかく問題の多い地域でした。しかし、昭和40年4月に地域住民で防犯組織を立ち上げ、その後昭和43年4月に県防犯協会から防犯団体の指定を受けてからは、地域住民の連帯感が強まり、地域が一体となって自主防犯活動を活発に行い始めたところ、犯罪の発生が徐々に減少するようになりました。



活動の概要

定期的な夜間パトロールとしまして、毎月15日の午後8時～9時までの間、拍子木を打ちながら徒歩による夜間パトロールや防犯診断等を実施し、町内に108基ある街灯の球切れ等のチェックをしております。また、地元中学校PTAと合同で、7月から10月の午後9時～10時まで合同夜間パトロールを実施し、青少年の健全育成に努めています。年末年始の期間は延べ人員80名程度参加して、夜間パトロールを実施しています。パトロールには小学生の参加もあり、冬の寒空に澄んだ声で「戸締まり用心、火の用心」を連呼しますと、付近住民も外に出てきて声援をいただいております。これらの活動を通して住民同士がよく声を掛け合い、常に住民の誰かに見られている、町民が自然に目を配っているような地域づくりを心掛けています。

広報・啓発活動として、地域安全ニュースを定期的に作成し、地区の回覧板で地域住民に対して防犯情報の提供と活動報告をしています。防犯安全標語の看板を作成し、町内10カ所に設置して、防

犯を呼びかけています。これらの広報・啓発活動を通して、地域の人たちに防犯情報をタイムリーに提供し、共有することで、自分たちの町は自らの手で守るという意識を高く持つことができると考えております。また、地域安全ののぼりを立て、道路や公園の清掃、夏祭りの東日本大震災チャリティバザーなど、地域と連帯の意思を示すことで、犯罪を躊躇するような地域づくりを目指しております。

そのほか、防犯講習等、地域行事に参加するイベント的な防犯活動として、消防署職員を招き AED の操作講習会を実施したり、地元公民館の自主防災隊に参加したり、地元の PTA と連携するなど、様々な活動を実施しています。夏祭り際には振り込め詐欺についての寸劇を上演し、ユーモアを交えながら高齢者に注意を促しています。このようにほかの団体と連携することで活動の幅を広げるとともに、地域の防犯のネットワークも広げることができると考えております。また、このような主体的な自主防犯活動が地域における慣例、習慣として定着することで、おのずと地域の規範意識や絆が強くなっていると、活動を通じ実感しております。

地域住民が子どもたちに挨拶をしたり、危険箇所や交通安全についての声掛けをすることで、子どもたちの防犯や交通ルールへの意識が高くなるだけでなく、声を掛けた大人と子どもの間には信頼関係が生まれてきているような気がします。こうした防犯ネットワークに参加する大人たちも、犯罪予防という防犯ボランティア活動を通して被害者側の気持ちを知ったり、犯罪の恐ろしさを感じたりすることで、活動にかかわるもの同士、規範意識や絆の意識が一層深まるものと考えております。こうしたことから、自分たちが取り組んできた 44 年間の伝統ある自主防犯活動は大変意義があり、重要であると自負しております。



→ 「自分たちのまちは自らの手で守る！」
「地域住民同志の連帯感の醸成！」



→ 「地域の防犯ネットワークの拡大！」

女性班「アイリス」の活動



防犯ボランティア活動の更なる活性化を目指し、平成 14 年、菖蒲原防犯協会の女性部 8 名により防犯ボランティア「アイリス」を結成し、月 1 回以上の昼間の町内パトロールや、防犯広報の啓発活動を実施しております。結成の目的として、地域の女性に対して自主防犯意識の高揚を図るとともに、女性構成員の獲得を図りながら女性ならではの地域に密着したきめ細かな活動ができればいいなと考えたためです。

活動事例として、夏休み中、小学生を対象とした体験

【結成の目的】

- 地域の女性に対しての自主防犯意識の高揚
- 女性構成員の獲得
- 女性ならではの地域に密着した、きめ細やかな活動等



ボランティアをアイリスが中心となって開催し、防犯パトロールやごみ拾いなどを実施しながら、町内の一人暮らしの高齢者宅を訪問して、声掛けを行っております。訪問先の高齢者の反応も、孫のような小学生の訪問に満面の笑みで迎え入れてくれて、地域の昔話を聞かせてくれたり、子どもたちとの交流を楽しむだけでなく、定期的に訪問して、お互いの顔や名前を覚え、町で会ったときに声を掛けやすくなり、逆に高齢者が子どもたちを見守るといった効果も生まれています。

【活動事例】

夏休み期間中、小学生の体験ボランティアを通して…

- 防犯パトロール、町内のゴミ拾い活動
- ひとり暮らしの高齢者宅訪問、声掛け



お互いの顔や名前をおぼえ、逆に、高齢者が子どもたちを見守る効果も…

また、訪問した際に、今、高齢者が困っていることや不安に思っていること、健康状態などを聞き取り、必要な支援やアドバイスを行い、民生委員や行政などの他の機関との連携が必要な場合は、引き継ぎを行うようにしています。最近では、少年よりも高齢者による万引きの発生件数が多いと聞いております。万引きの動機としても、経済的な問題や心の問題、孤独感からくるのが大きいと聞かされると、人とのつながりの大切さを再認識させられます。訪問の際の何気ない会話の中にも、話を聞くこと、共感することを心掛けて接するようにしています。その点、話し相手が女性である場合、安心して話ができたり、女性同士だからこそできる話もあるなど、毎回の訪問を楽しみにしているという高齢者の声を耳にしますと、私たちもとてもやりがいを感じております。例えば、一人暮らしの高齢者で一日中テレビを見ていて、今日は誰とも話をしていなかったという話をされ、「来てくれてありがとう」と喜んでくださいます。

高齢者への声掛けは私たちの勉強にもなります。ただ、こうした問題を高齢者だけの問題としてとらえることなく、地域の問題としてとらえ、自分たちにいったい何ができるかということを常に問題意識として取り組んでいきたいと考えております。

「ご苦労さま!」「ありがとう!」

子どもたちにも責任感や自覚
やりがいと達成感



- 子どもたちの中に「郷土愛」を育む
- 次世代の育成につながる

また、先に話しました小学生の体験ボランティアについてですが、地区の公民館長や団体の男性推進員、警察の協力を得て、場内の清掃作業をしながら、地区の危険箇所の点検も実施しております。体験を通して、清掃途中に出会った住民から「ご苦労様」「ありがとう」など感謝や労いの言葉を掛けられることで、子どもたちにも責任感や自覚が生まれ、やりがいと達成感を感じているようです。このように、子どもたち自身が自分たちの住む地域や人を知ることで危険を予測する能力が高まるだけでなく、

地域住民との絆を強めるとともに、何より子どもたち自身の中に「郷土愛」を育むことで、次の世代の育成につながると考えております。

体験ボランティア活動の最後には、当ボランティア団体の男性会員が竹とんぼや竹馬づくりなどの昔遊びを教えて交流するなど、参加した小学生が楽しみながら防犯活動ができるよう工夫をしております。このように、男性会員とは役割分担をし、お互いに不得手なところを補い合うことで、活動のバリエーションを広げるだけでなく、女性ならではの地域に密着した活動ができると考えております。

最後になりますが、安全で安心な地域社会をつくるためには、犯罪の予防・未然防止の重要性を理解し、今地域でどういった問題や不安を抱えているのかということ、ネットワークをつくり、把握・共有することが重要であると考えております。そのためには、警察だけでなく、地域住民、関係機関、自治体等が相互の連携を密にし、各自が知恵を出し合いながら、その得意分野を十分に生かして地域のための役割を果たしていくことが大事であると考えております。何より、私たち地域住民による自主防犯団体が、「自分たちの地域は自分たちで守る」という気概を持って取り組んでいくことが必要であると考えております。



質疑応答

●質問 発表の中にもありましたが、小学生を対象としてボランティア活動を体験するという活動を行っておられます。活動を通じて、子どもたちに社会のルールやマナーを教えているとのこと。これらの取組に対して、地域の方々、特に保護者の方々の反響などはいかがですか。

○回答 夏休み中の小学生の体験ボランティアを始めて、今年で5年目になります。ボランティア教育はやっぱり小さいときから教えることが大事かなと思って取り組んだ活動です。社会の仕組みとかルール、マナーを体験中に教えてあげること、例えば、高齢者問題とか環境問題、ごみの分別など、生活に密着したことを全部取り入れての活動になります。地域の方々も、保護者からも評価いただいておりますので、今後はますます内容を充実して取り組みたいと考えております。ただ、参加人数を増やすために、小学校、PTA との連携を密にしたいと考えております。